

1	事業名		保育料の負担軽減事業			担当課		健康こども課		
2	総合戦略の位置付け		基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる						
			具体的な施策	(1) 子育てに係る経済的支援						
			項目	① 保育料の負担軽減						
			掲載ページ	28 頁			重点への位置づけ		●	
3	事業概要		子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、保育に係る個人負担を軽減し、子育て環境において選ばれる町を目指す。							
4	事業年度		令和2年度～令和7年度							
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続した。国が定める保育所保育料の基準額に基づき、3歳以上児童については一律無償とし、3歳未満児童についても、国が定める保育所保育料の基準額の約60%とした町徴収基準額を設定し、引き続き個人負担軽減の継続を図った。また、国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しては、前年度同様無料とした。							
		R3年度実績	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続した。国が定める保育所保育料の基準額に基づき、3歳以上児童については一律無償とし、3歳未満児童についても、国が定める保育所保育料の基準額の約60%とした町徴収基準額を設定し、引き続き個人負担軽減の継続を図った。また、国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しては、前年度同様無料とした。							
		R4年度実績	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続した。国が定める保育所保育料の基準額に基づき、3歳以上児童については一律無償とし、3歳未満児童についても、国が定める保育所保育料の基準額の約60%とした町徴収基準額を設定し、引き続き個人負担軽減の継続を図った。また、国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しては、前年度同様無料とした。							
		R5年度実績	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続する。国が定める保育所保育料の基準額に基づき、3歳以上児童については一律無償とし、3歳未満児童についても、国が定める保育所保育料の基準額の約60%とした町徴収基準額を設定し、引き続き個人負担軽減の継続を図っている。また、国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しても、前年度同様無料とした。							
		R6年度計画	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続する。国が定める保育所保育料の基準額に基づき、3歳以上児童については一律無償とし、3歳未満児童についても、国が定める保育所保育料の基準額の約60%とした町徴収基準額を設定し、引き続き個人負担軽減の継続を図る。また、国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しては、前年度同様無料。							
		R7年度計画	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、現状の個人負担軽減を継続する。国が定める保育所保育料の基準額に基づき、3歳以上児童については一律無償とし、3歳未満児童についても、国が定める保育所保育料の基準額の約60%とした町徴収基準額を設定し、引き続き個人負担軽減の継続を図る。また、国が定める保育所保育料の基準額に基づき、一定の所得以下の世帯に対しては、前年度同様無料。							
6	事業費	年度	計画(千円)				実績(千円)			
			事業費		うち特定財源		事業費		うち特定財源	
		2	612, 443		456, 982 国県他		609, 053		465, 630 国県他	
		3	599, 349		454, 697 国県他		621, 034		467, 014 国県他	
		4	624, 883		454, 697 国県他		625, 493		457, 690 国県他	
		5	606, 223		451, 701 国県他		627, 947		459, 123 国県他	
		6	606, 223		451, 701 国県他					
		7	606, 223		451, 701 国県他					
		計	3, 655, 344		2, 721, 479				2, 483, 527	
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	町の子育て支援の充実度【65%】			目標2			
			計画		実績		計画		実績	
		2	63		81					
		3	63		—					
		4	64		—					
		5	64		—					
		6	65							
		7	65							
		計	65 %		81 %		0 人		0 人	
			進捗率		124.62 %		進捗率		#DIV/0! %	
		確認方法	アンケート・R3、R4関連アンケート実施なし							

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・数値目標の設定検討 ・移住定住との連携、PRの強化	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	・企画空港課が作成している移住定住促進向けチラシ等に保育料の軽減をPRした。また、住民向けアンケートで保育料の意識調査を行い、今後に向けて検討する。
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和6年7月1日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和6年8月8日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
9	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
10	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
	計画変更の必要性				
9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名		子ども医療・児童医療費助成事業			担当課	健康こども課	
2	総合戦略の位置付け		基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
			具体的な施策	(1) 子育てに係る経済的支援				
			項目	② 0歳から高校3年生までの医療費無料化				
			掲載ページ	28 頁			重点への位置づけ	●
3	事業概要		子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成する。横芝光町では平成27年度から他市町に先立ち高校3年生までを無料化しており、今後も制度を継続し、子育て施策の充実を図る。					
4	事業年度		令和2年度～令和7年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成した。					
		R3年度実績	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成した。					
		R4年度実績	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成した。					
		R5年度実績	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成した。 0歳から高校3年生までの無料化を継続した。 また、高校生の現物給付を実施した。					
		R6年度計画	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成する。 0歳から高校3年生までの無料化を継続する。					
		R7年度計画	子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが病気や怪我などにより受診した場合の医療費を助成する。 他市町に先立ち、0歳から高校3年生までの無料化を継続する。					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		2	65,598	16,954	国・県	64,929	17,310	県補
		3	84,000	23,680	国・県	71,727	19,409	県補
		4	77,296	20,208	国・県	73,449	18,661	県補
		5	76,521	16,932	国・県	88,677	21,317	県補
		6	106,058	25,981	国・県			
		7	106,058	25,981	国・県			
		計	515,531	129,736		298,782	76,697	
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	町の子育て支援の充実度【65%】		目標2		
			計画	実績	計画	実績		
		2	63	81				
		3	63	—				
		4	64	—				
		5	64	—				
		6	65					
		7	65					
		計	65 %	81 %	0 人	0 人		
			進捗率	124.62 %	進捗率	#DIV/0! %		
確認方法	アンケート ・R3、R4関連アンケート実施なし							

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	今後も計画どおり進める 無	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・高校生への現物給付による支援検討	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	千葉県が実施する子ども医療費助成制度が令和5年度（8月）に現物給付の対象を高校生までに拡大する制度の改正を行うこととなったため、町でも同時期に現物給付による支援が実施できるよう調整を行った。
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	意見を踏まえ、利用者の利便性向上を考慮しながら、今後も計画どおり進める 無	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・対象年齢の引き上げ検討 ・高校生の保護者をアンケート対象者とするものの検討	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	・千葉県が実施する子ども医療費助成制度が令和5年度（8月）に現物給付の対象を高校生年代までに拡充したため、町でも同時期に中学3年までから高校生年代までに拡充し現物給付とした。 ・第3期子ども・子育て支援事業計画の策定時にアンケートを実施し、住民のニーズや費用対効果を踏まえ、総合的に勘案する。
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由 計画変更の必要性	意見を参考に、今後も計画どおり進める 無	
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和6年7月1日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・町取組事業のアピール ・メディアの活用 ・医療費削減やサービス等へ向けてのデータ分析	
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和6年8月8日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由 計画変更の必要性	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める 無			
9	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
10	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由 計画変更の必要性				
9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名		子育て支援事業（子育て日用品助成券の支援）			担当課	健康こども課	
2	総合戦略の位置付け		基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる				
			具体的な施策	（１） 子育てに係る経済的支援				
			項目	③ 子育て日用品の助成				
			掲載ページ	28 頁		重点への位置づけ	—	
3	事業概要		乳児期に使用する紙オムツや粉ミルク等の子育て日用品購入費の助成を行うことにより、子育て世帯の経済的負担を軽減する。					
4	事業年度		令和2年度～令和7年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	令和2年度は、満1歳未満の乳児期に使用する紙おむつや粉ミルク等の購入時に使用できる子育て日用品助成券を1,181枚交付した。また、町内の子育て日用品助成券の使用可能7店舗での助成券の使用枚数は1,231枚(扶助費1,231,000円)であった。					
		R3年度実績	令和3年度は、満1歳未満の乳児期に使用する紙おむつや粉ミルク等の購入時に使用できる子育て日用品助成券を1,114枚交付した。また、町内の子育て日用品助成券の使用可能8店舗での助成券の使用枚数は1,074枚(扶助費1,074,000円)であった。					
		R4年度実績	令和4年度は、満1歳未満の乳児期に使用する紙おむつや粉ミルク等の購入時に使用できる子育て日用品助成券を1,010枚交付した。また、町内の子育て日用品助成券の使用可能8店舗での助成券の使用枚数は1,078枚(扶助費1,078,000円)であった。					
		R5年度実績	令和5年度は、満1歳未満の乳児期に使用する紙おむつや粉ミルク等の購入時に使用できる子育て日用品助成券を981枚交付した。また、町内の子育て日用品助成券の使用可能8店舗での助成券の使用枚数は977枚(扶助費977,000円)であった。					
		R6年度計画	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、乳児期に使用する紙オムツや粉ミルク等の子育て日用品の購入に充てることができる助成券を支給する。 ・助成券支給 @1,000円/月×12か月×87人					
		R7年度計画	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、乳児期に使用する紙オムツや粉ミルク等の子育て日用品の購入に充てることができる助成券を支給する。 ・助成券支給 @1,000円/月×12か月×87人					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		2	1,544	772	基金	1,279	585	基金
		3	1,298	649	基金	1,075	477	基金
		4	1,236	618	基金	1,078	523	基金
		5	1,163	581	基金	977	444	基金
		6	1,044	522	基金			
		7	1,044	522	基金			
		計	7,329	3,664		4,409	2,029	
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	町の子育て支援の充実度【65%】		目標2	0歳児人口【673人／累計】	
			計画	実績		計画	実績	
		2	63	81		120	102	
		3	63	—		117	111	
		4	64	—		111	103	
		5	64	—		107	92	
		6	65			109		
		7	65			109		
		計	65 %	81 %		673 人	408 人	
			進捗率	124.62 %		進捗率	60.62 %	
		確認方法	アンケート ・R3、R4関連アンケート実施なし					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 特になし	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 特になし	
6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和5年8月17日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
	計画変更の必要性	無			
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日	令和6年7月1日			
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
	外部有識者からの意見	・ アンケート結果の公表			
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和6年8月8日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める			
	計画変更の必要性	無			
9	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
10	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
	計画変更の必要性				
9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名		子育て用品リサイクル事業			担当課	健康こども課			
2	総合戦略の位置付け		基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる						
			具体的な施策	(1) 子育てに係る経済的支援						
			項目	④ 子育て用品リサイクルのマッチング						
			掲載ページ	28 頁		重点への位置づけ	—			
3	事業概要		ベビー用品などの子育て用品は再利用可能なものが多いにもかかわらず処分されてしまう「もったいない」現状から、リサイクルできる子育て用品をネットワークで結び、再利用できる仕組みを構築する。							
4	事業年度		令和2年度～令和7年度							
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	令和2年に一件ベビーベッド等を譲りたいという申し出があり、プラム内のロビーに掲示していたところ、ベビーベッド等を欲しいという申し出があり、子育て日用品リサイクル用品の譲渡が成立した。							
		R3年度実績	令和3年の周知方法については、従来のプラムロビー内の掲示板での周知に加えて、町ホームページでの周知を始めたとともに、電子メールで譲渡者と譲受者の申請が出来る仕組みを創設した。また町ナビでも利用案内の周知記載を行った。 実績については、1件（紙おむつ）の譲受が成立した。							
		R4年度実績	令和4年の周知方法については、プラムのロビー内の掲示板での周知、町ホームページでの周知、チラシを配布した。 実績については、3件（チャイルドシート2件、ベビーベッド1件）の譲受が成立した。							
		R5年度実績	令和5年の周知方法については、プラムのロビー内の掲示板での周知、町ホームページでの周知、チラシを配布した。 実績については、1件（ベビーベッド1件）の譲受が成立した。 ジモティーとリサイクル協定を締結した。							
		R6年度計画	ベビー用品などの子育て用品で再利用可能なものを、ネットワークを通じて再利用できる仕組みを構築する。 ◎プラムのロビーと町ホームページにて譲与者と譲受者の情報を掲示板に掲載し、周知する。 ◎ジモティーとリサイクル協定について周知する。							
		R7年度計画	ベビー用品などの子育て用品で再利用可能なものを、ネットワークを通じて再利用できる仕組みを構築する。 ◎プラムのロビーと町ホームページにて譲与者と譲受者の情報を掲示板に掲載し、周知する。 ◎ジモティーとリサイクル協定について周知する。							
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)				
			事業費		うち特定財源	事業費		うち特定財源		
		2	0			0				
		3	0			0				
		4	0			0				
		5	0			0				
		6	0							
		7	0							
計	0			0						
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標 1	リサイクル品の譲渡件数【5件／年】		目標 2				
			計画		実績		計画		実績	
		2	2		1					
		3	3		1					
		4	4		3					
		5	4		1					
		6	4							
		7	5							
		計	22 件		6 件		0 人		0 人	
			進捗率		27.27 %		進捗率		#DIV/0! %	
	確認方法	年あたりの譲渡件数実績								

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 周知方法の検討	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	新たな周知方法として、町ホームページ及び町ナビへの掲載を行った。また、ホームページ上にリサイクル事業の掲示板を新設し、電子メールでの手続きを行える仕組みを創設した。
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業内容の見直し（改善）	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない	
			外部有識者からの意見	・ 譲渡会の設定検討 ・ 子育て日用品助成券配布時の事業周知 ・ SDGs視点に基づく事業検討	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	子育て日用品助成券配布時健康こども課関連各種手続きでプラム来所時に個別に事業周知を行った。 また、リサイクル専門ウェブサイトと協議を行い協定に向けて調整を図った。
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、取組方法を再検討した上で、今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 特になし	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和6年7月1日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ ジモティ活用状況の把握	
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
評価年月日	令和6年8月8日				
今後の方針	事業の継続				
今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める				
計画変更の必要性	無				
9	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
10	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
	計画変更の必要性				
9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名		学校給食費負担金助成事業		担当課	教育課 学校給食センター	
2	総合戦略の位置付け		基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる			
			具体的な施策	(1) 子育てに係る経済的支援			
			項目	⑤ 学校給食費の無償化			
			掲載ページ	28 頁	重点への位置づけ	●	
3	事業概要		横芝光町に住所を有する小学校児童及び中学校生徒の保護者に対し、学校給食費保護者負担金を助成することにより、教育費負担を軽減し、子育て支援に資する。				
4	事業年度		令和2年度～令和7年度				
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	・町学校給食費保護者負担金の全額。 ※小学校 4,600円／月（270円／食） 中学校 5,100円／月（300円／食） ・在学する町外の小中学校又は特別支援学校の給食費保護者負担金の全額。（償還払い方式） ・就学奨励費など学校給食費負担金の全部又は一部について国県等から助成がある場合は、実質的な保護者負担金の額。（償還払い方式） ・要保護標準要保護児童生徒の給食費は、従来どおり就学援助費の対象とし、本助成から除外する。				
		R3年度実績	・町学校給食費保護者負担金の全額。 ※小学校 4,600円／月（270円／食） 中学校 5,100円／月（300円／食） ・在学する町外の小中学校又は特別支援学校の給食費保護者負担金の全額。（償還払い方式） ・就学奨励費など学校給食費負担金の全部又は一部について国県等から助成がある場合は、実質的な保護者負担金の額。（償還払い方式） ・要保護標準要保護児童生徒の給食費は、従来どおり就学援助費の対象とし、本助成から除外する。				
		R4年度実績	・町学校給食費保護者負担金の全額。 ※小学校 4,600円／月（270円／食） 中学校 5,100円／月（300円／食） ・在学する町外の小中学校又は特別支援学校の給食費保護者負担金の全額。（償還払い方式） ・就学奨励費など学校給食費負担金の全部又は一部について国県等から助成がある場合は、実質的な保護者負担金の額。（償還払い方式） ・要保護標準要保護児童生徒の給食費は、従来どおり就学援助費の対象とし、本助成から除外する。				
		R5年度実績	・町学校給食費保護者負担金の全額。 ※小学校 4,600円／月（270円／食） 中学校 5,100円／月（300円／食） ・在学する町外の小中学校又は特別支援学校の給食費保護者負担金の全額。（償還払い方式） ・就学奨励費など学校給食費負担金の全部又は一部について国県等から助成がある場合は、実質的な保護者負担金の額。（償還払い方式） ・要保護標準要保護児童生徒の給食費は、従来どおり就学援助費の対象とし、本助成から除外する。				
		R6年度計画	・町学校給食費保護者負担金の全額。 ※小学校 4,600円／月（270円／食） 中学校 5,100円／月（300円／食） ・在学する町外の小中学校又は特別支援学校の給食費保護者負担金の全額。（償還払い方式） ・就学奨励費など学校給食費負担金の全部又は一部について国県等から助成がある場合は、実質的な保護者負担金の額。（償還払い方式） ・要保護標準要保護児童生徒の給食費は、従来どおり就学援助費の対象とし、本助成から除外する。				
		R7年度計画	・町学校給食費保護者負担金の全額。 ※小学校 4,600円／月（270円／食） 中学校 5,100円／月（300円／食） ・在学する町外の小中学校又は特別支援学校の給食費保護者負担金の全額。（償還払い方式） ・就学奨励費など学校給食費負担金の全部又は一部について国県等から助成がある場合は、実質的な保護者負担金の額。（償還払い方式） ・要保護標準要保護児童生徒の給食費は、従来どおり就学援助費の対象とし、本助成から除外する。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	71,910	0 空港	65,929	59,336 空港	
		3	71,787	0 空港	75,504	67,953 空港	
		4	73,946	0 空港	71,297	64,166 空港	
		5	73,310	0 空港	68,613	61,751 空港	
		6	71,228	0 空港			
		7	71,787	0 空港			
		計	433,968	0	281,343	253,206	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標 1	町の子育て支援の充実度【65%】	目標 2		
			計画	実績	計画	実績	
		2	63	81			
		3	63	－			
		4	64	－			
		5	64	－			
		6	65				
		7	65				
		計	65 %	81 %	0 人	0 人	
			進捗率	124.62 %	進捗率	#DIV/0! %	
	確認方法	アンケート ・R3、R4関連アンケート実施なし					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 地産地消具体化の検討	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	以前より、米、もち麦、小松菜、三つ葉、には町内産で賄っており、そのほかの食材も可能な範囲で町内産を用いて地産地消につながるよう取り組みを行っている。
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業内容の見直し（改善）	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 更なる地産地消に向けて、農業振興会等との話し合いの場設定の検討	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	米、もち麦、小松菜、三つ葉、にはすべて町内産で賄っており、その他、ねぎやトマトなど可能な範囲で町内産を用いているほか、限定的ではあるが、地元産食材による地産地消メニューなどの取り組みを行っている。
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、取組方法を再検討した上で、今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 特になし	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和6年7月1日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 空港交付金活用の周知 ・ 周知にあたっては丁寧な対応を	
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和6年8月8日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		9	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		10	評価会議名称		
評価年月日					
今後の方針					
今後の方針の理由					
計画変更の必要性					
9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名		保育所等給食費助成事業			担当課	健康こども課				
2	総合戦略の位置付け		基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる							
			具体的な施策	(1) 子育てに係る経済的支援							
			項目	⑥ 保育所等給食費の負担軽減							
			掲載ページ	28 頁			重点への位置づけ	—			
3	事業概要		安心して子どもを生み育てることができ、かつ、子どもが健やかに成長することができる町づくりを実現するため、子育て世帯に対する子育て支援施策の一つとして、子どもたちの健やかな発育・発達の重要な要素となる「食」を町が支援し、子育て世帯の経済的負担の軽減を目的に、本町在住の3歳児から5歳児までの給食費を助成する。								
4	事業年度		令和5年度～令和7年度								
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績									
		R3年度実績									
		R4年度実績									
		R5年度実績	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、保育園や幼稚園に通う本町在住の3歳児から5歳児までの給食費助成について、以下の計画とおりに実施し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。 ・実施方法 町内保育園等を利用の方は町が給食費助成額を毎月利用施設に支払い 町外保育園等を利用の方は申請のうえ領収書に基づく償還払い ・助成額 各園の定める給食費又は5,000円のいずれか低い額を助成								
		R6年度計画	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、保育園や幼稚園に通う本町在住の3歳児から5歳児までの給食費を助成し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。 ・実施方法 町内保育園等を利用の方は町が給食費助成額を毎月利用施設に支払い 町外保育園等を利用の方は申請のうえ領収書に基づく償還払い ・助成額 各園の定める給食費又は5,000円のいずれか低い額を助成								
		R7年度計画	子育て世帯が抱く将来不安を緩和し、安心して子どもを産み育てられるよう、保育園や幼稚園に通う本町在住の3歳児から5歳児までの給食費を助成し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。 ・実施方法 町内保育園等を利用の方は町が給食費助成額を毎月利用施設に支払い 町外保育園等を利用の方は申請のうえ領収書に基づく償還払い ・助成額 各園の定める給食費又は5,000円のいずれか低い額を助成								
6	事業費		年度	計画(千円)			実績(千円)				
			事業費		うち特定財源		事業費		うち特定財源		
			2	-		-		-		-	
			3	-		-		-		-	
			4	-		-		-		-	
			5	21,600		0		15,710		14,138	
			6	19,554							
			7	19,554							
			計	60,708				15,710			
7	重要業績評価指標 (KPI)		年度	目標 1	町の子育て支援の充実度【65%】		目標 2				
			計画		実績		計画		実績		
			2	-		-					
			3	-		-					
			4	-		-					
			5	64		-					
			6	65							
			7	65							
			計	65	%	0	%	0	人	0	人
			進捗率		0.00 %		進捗率		#DIV/0! %		
			確認方法	アンケート							

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		2	評価会議名称		
			評価年月日		
			今後の方針		
			今後の方針の理由		
			計画変更の必要性		
		3	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		4	評価会議名称		
			評価年月日		
			今後の方針		
			今後の方針の理由		
			計画変更の必要性		
		5	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		6	評価会議名称		
			評価年月日		
			今後の方針		
			今後の方針の理由		
			計画変更の必要性		
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和6年7月1日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
外部有識者からの意見	・ 自己負担の状況の把握				
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和6年8月8日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める			
	計画変更の必要性	無			
9	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
10	外部有識者からの意見				
	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
	計画変更の必要性				
9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	不妊治療費助成事業	担当課	健康こども課
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる	
		具体的な施策	(2) 妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援	
		項目	① 不妊治療費の助成	
		掲載ページ	29 頁	重点への位置づけ ●
3	事業概要	不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成し、子どもが欲しい世帯の希望をかなえ、経済的負担の軽減を図るとともに、不妊に関する相談等、総合的な支援体制の強化を図る。		
4	事業年度	令和2年度～令和7年度		
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成する事業で、周知啓発として、町ホームページに掲載及びチラシを作成し、役場窓口・プラムセンターに設置した。 ・事業周知用紙等消耗品 1,937円 ・不妊治療費助成金（1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。） @100,000円（上限額）×年6人 @（29,000円+27000円）×1人 @27,000円×1人 ※当初予算500,000円、9月補正予算、300,000円 計800,000円 【実績額：710,000円（約89%）/申請者8人（9件）】	
		R3年度実績	不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成する事業で、周知啓発として、町ホームページ及び広報への掲載と周知用チラシを作成し、対象者への周知を行った。 ・事業周知用紙等消耗品 1,965円 ・不妊治療費助成金（1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。） @100,000円（上限額）×年8人 @（62,000円+38,000円）×1人 @84,000円×2人 ※当初予算800,000円、流用268,000円 計1,068,000円 【実績額：1,068,000円（100%）/申請者11人（12件）】	
		R4年度実績	（1）特定不妊治療助成事業 不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成する事業で、周知啓発として、町ホームページ及び広報への掲載と周知用チラシを作成し、対象者への周知を行った。 ・不妊治療費助成金（1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。） @100,000円（上限額）×年5人 ※当初予算1,000,000円 【実績額：500,000円（約50%）/申請者5人（5件）】 （2）不妊治療費保険診療助成事業（妊活サポート事業）※新規事業（令和4年12月補正） 不妊に悩み治療を受けている夫婦に対して保険診療による不妊治療等に係る費用の一部を助成する事業（横芝光町不妊治療費保険診療の助成に関する規則） ・不妊治療費保険診療助成金（1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。また、助成事業受診証明書文書料として一年度当たり1万円を上限額として助成する。） @87,000円+3,300円（文書料） @47,000円+4,200円（文書料） @21,000円+500円（文書料） ※補正予算700,000円（7件分） 【実績額：155,000円（約22%）+8,000円（文書料）/申請者2人（3件）】	

		R5年度実績	(1) 特定不妊治療助成事業 不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精や顕微授精等に要する費用の一部を助成する事業で、周知啓発として、町ホームページ及び広報への掲載と周知用チラシを作成し、対象者への周知を行った。 ・不妊治療費助成金（1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。） ※当初予算1,000円（需用費のみ計上） 【実績額：100,000円（R5.4月申請があり、99,000円予備費より充用）/申請者1人（1件）】 (2) 不妊治療費保険診療助成事業（妊活サポート事業）※新規事業（令和4年12月補正） 不妊に悩み治療を受けている夫婦に対して保険診療による不妊治療等に係る費用の一部を助成する事業（横芝光町不妊治療費保険診療の助成に関する規則） ・不妊治療費保険診療助成金（1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。また、助成事業受診証明書文書料として一年度当たり1万円を上限額として助成する。） @43,000円+7,150円（文書料） @100,000円+3,300円（文書料） @100,000円+3,300円（文書料） ※当初予算1,000,000円（10件分） 【実績額：243,000円（約24.3%）+13,750円（文書料）/申請者3人（3件）】 ※令和5年度3月補正：500,000円の減額					
		R6年度計画	不妊治療費保険診療助成事業（妊活サポート事業） 不妊に悩み治療を受けている夫婦に対して保険診療による不妊治療等に係る費用の一部を助成する事業（横芝光町不妊治療費保険診療の助成に関する規則） ・不妊治療費保険診療助成金（1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。また、助成事業受診証明書文書料として一年度当たり1万円を上限額として助成する。）					
		R7年度計画	不妊治療費保険診療助成事業（妊活サポート事業） 不妊に悩み治療を受けている夫婦に対して保険診療による不妊治療等に係る費用の一部を助成する事業（横芝光町不妊治療費保険診療の助成に関する規則） ・不妊治療費保険診療助成金（1件あたり、100,000円を上限額とし助成する。また、助成事業受診証明書文書料として一年度当たり1万円を上限額として助成する。）					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		2	802	401	基金	712	356	基金
		3	1,002	501	基金	1070	535	基金
		4	1,002	501	基金	663	321	基金
		5	1,003	501	基金	357	126	基金
		6	501	250	基金			
		7	501	250	基金			
		計	4,811	2,404		2802	1,338	
7	重要業績評価指標 (K P I)	年度	目標 1	母子手帳交付人数【115人／年】		目標 2		
			計画	実績		計画	実績	
		2	115	92				
		3	115	101				
		4	115	88				
		5	115	83				
		6	115					
		7	115					
		計	690 人	364 人		0 人	0 人	
			進捗率	52.75 %		進捗率	#DIV/0! %	
		確認方法	母子健康手帳の交付人数【115人／年】					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 保険対象外治療費の負担軽減の検討	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	・ 現行の保険診療に対する効果を考察し、保険適用外治療に至った経緯等を把握しつつ、保険対象外治療費の負担軽減について今後調査研究してまいりたい。
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を参考に、今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	

		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和6年7月1日	
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			外部有識者からの意見	令和6年8月8日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		9	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		10	評価会議名称		
			外部有識者からの意見		
			今後の方針		
			今後の方針の理由		
計画変更の必要性					
9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名		エンゼルヘルパー派遣事業			担当課	健康こども課		
2	総合戦略の位置付け		基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる					
			具体的な施策	(2) 妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援					
			項目	② 妊娠・出産期の支援					
			掲載ページ	29 頁		重点への位置づけ	—		
3	事業概要		妊娠期・出産期又は、急な病気や怪我等で一時的に家事ができなくなった家庭に、家事代行（掃除・買い物）を主とするエンゼルヘルパー派遣サービスを提供し、安心して育児ができる環境を整える。令和元年度から設置された「子育て包括支援センター プラムっこ」との連携を図りながら、出産後の母親の体や心のケアのため産後ケアの充実を図り、女性の健康を支援する。						
4	事業年度		令和2年度～令和7年度						
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	令和2年度は、エンゼルヘルパー事業の委託事業所と契約ができなかったため、実質事業の実施ができず利用者なしとなってしまった。令和2年12月9日にエンゼルヘルパー派遣業務委託先事業の受託の協議を「九十九里ホーム」と行い、令和3年度より委託できることとなった。						
		R3年度実績	令和3年度からエンゼルヘルパー派遣業務委託先事業所として新たに「九十九里ホーム」と契約を行った。 周知の方法については、町ホームページに記載、広報に2回（6月号・12月号）及び町ナビに5月頃利用案内を行うとともに、妊娠届提出の来庁時に、口頭及びチラシによる案内を行った。 利用登録の申請が1件あった。						
		R4年度実績	令和4年度も九十九里ホームと契約を行ったが、利用希望者なし。 周知の方法としては、町広報で周知した。						
		R5年度実績	令和5年度も九十九里ホームと契約を締結した。 利用登録の申請が1件あった。 周知の方法としては、町広報で周知した。						
		R6年度計画	妊娠期・出産期又は、急な病気や怪我等で一時的に家事ができなくなった家庭に、家事代行（掃除・買い物）を主とするエンゼルヘルパー派遣のサービスを提供する。 ・事業周知用紙等消耗品 2,000円 ・エンゼルヘルパー派遣委託料 @3,000円/h×110%×2h×4日×1人×6か月						
		R7年度計画	妊娠期・出産期又は、急な病気や怪我等で一時的に家事ができなくなった家庭に、家事代行（掃除・買い物）を主とするエンゼルヘルパー派遣のサービスを提供する。 ・事業周知用紙等消耗品 2,000円 ・エンゼルヘルパー派遣委託料 @3,000円/h×110%×2h×4日×1人×6か月						
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)			
			事業費		うち特定財源	事業費		うち特定財源	
		2	108	54	基金	0	0		
		3	237	118	基金	1	0		
		4	159	79	基金	0	0		
		5	159	80	基金	0	0		
		6	159	80	基金				
		7	159	80	基金				
		計	981	491		1			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標 1	母子健康手帳の交付人数【115人／年】		目標 2	利用人数【1人/年】		
			計画		実績		計画		実績
		2	115	92		—	0		
		3	115	101		—	0		
		4	115	88		1	0		
		5	115	83		1	0		
		6	115			1			
		7	115			1			
		計	690 人	364 人		4 人	0 人		
			進捗率	52.75 %		進捗率	0.00 %		
		確認方法	母子健康手帳の交付者数			事業利用実績			

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	達成度合いを計測・監視するための定量的な指標の観点から、利用人数を目標2として新たに加えることとした。
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない	
			外部有識者からの意見	・母子手帳交付対象者に対するオール困い込みでの事業促進の検討 ・LINEを活用した取組みの検討	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	母子手帳交付時等健康こども課関連手続きでプラム来所時に個別に事業周知を行った。
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、取組方法を再検討した上で、今後も計画どおり進める	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・特になし	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和6年7月1日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・利用に至らない理由の把握 ・他自治体に身近な人が支援し、ポイントを受け取る事例がある	
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和6年8月8日	
今後の方針	事業の継続				
今後の方針の理由	意見を参考に、事業を見直す				
9	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
10	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
10	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	計画変更の必要性				
9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	予 算 事 業 名	母子保健事業	担当課	健康こども課
2	総合戦略の位置付け	基本目標	3	結婚、出産、子育ての希望をかなえる
		具体的な施策	(2)	妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援
		項目	③	子育て支援・母子保健事業の充実
		掲載ページ	29 頁	重点への位置づけ ー
3	事 業 概 要	健康教育：さくらんぼクラブ（子育て教室）、おやこクッキング、おやこ食育教室 乳幼児健診：乳児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診 乳幼児健康相談：子育て相談、言葉の教室、巡回相談、5歳児相談 歯科保健事業：よい歯びかびかキッズ、2歳児歯科健診、よい歯のコンクール 子育て世代包括支援センター事業：妊娠届出時面接、妊娠8か月教室、出生時面接、産後ケア事業、産後ヨガ・ベビーヨガ、妊婦・乳幼児健康相談		
4	事 業 年 度	令和2年度～令和7年度		
	R2年度実績	母子保健事業の充実により、育児不安の解消や安心した子育てにつながるようにすると共に、令和2年4月1日に子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠届出や出生時の手続きの他、転入妊婦、転入乳幼児についてはセンターの相談室での面接や各事業の実施により妊娠期からの切れ目のない支援の充実を図った。 ①さくらんぼクラブ：年10回、実26組、延66組（37,800円） ②おやこクッキング：感染症対策のため中止、おやこ食育教室：年1回、小学生親子実・延55人、推進員実・延1人（食生活改善協議会委託補助金 直接的支出なし） ③乳児健診：年5回、対象111人、受診107人、受診率96.4%（336,712円） ④1歳6か月児健診：年6回、対象120人、受診117人、受診率97.5%（602,680円） ⑤3歳児健診：年6回、対象154人、受診149人、受診率96.8%（831,210円） ⑥5歳児相談：年3回、対象141人、受診46人、受診率32.6%（295,559円） ⑦乳幼児健康相談（1,935,407円） 子育て相談：年28回、実35人、延61人、言葉の教室：年124回、実53人、延382人、巡回相談：年10回、実・延175人 ④歯科保健事業（389,166円） よい歯びかびかキッズ：年10回、対象90人、受診84人、受診率93.3%、2歳児歯科健診：年4回、対象94人、受診93人、受診率98.9%、よい歯のコンクール：感染症対策のため中止 ⑤子育て世代包括支援センター事業（1,521,062円） 妊娠届け出時面接：92人、妊娠8か月教室：年8回、対象85人、妊婦実23人、夫他家族実14人、出生時面接：110人、産後ケア事業：実3人、産後ヨガ・ベビーヨガ：年5回、実17組、妊婦・乳幼児健康相談：年12回、実77組、延218組 実績額合計：5,949,596円		
	R3年度実績	1 健康教育①さくらんぼクラブ（子育て教室）（離乳食のみ）：回数2回、実8人、延8人（22,928円） ②おやこクッキング：感染症対策のためパンフレット配布のみ 回数5回、配布数159人（食生活改善協議会委託補助金 直接的支出なし） 2 乳幼児健診等①乳児健診：回数6回、対象92人、受診数89人（286,326円） ②1歳6か月児健診：回数6回、対象102人、受診数97人（687,091円） ③3歳児健診：回数6回、対象142人、受診数135人（909,186円） ④5歳児相談：回数3回、対象155人、相談数38人（301,878円） 3 乳幼児健康相談①子育て相談：回数36回、実44人、延83人 ②言葉の教室：回数158回、実57人、延494人 ③巡回相談：回数9回（感染症対策のため後期巡回相談のみ実施）（合計2,187,012円） 4 歯科保健事業①よい歯びかびかキッズ（資料の配布へ内容変更）配布100人 ②2歳児歯科健診：回数5回、対象111人、受診数96人 ③よい歯のコンクール（感染症対策のため中止0人）（合計405,818円） 5 子育て世代包括支援センター事業 ①妊娠届出時面接：101人 ②妊娠8か月教室（ウェルカムベビークラスへ名称変更）：年6回、対象79人、妊婦実19人、家族実7人 ③出生時面接：97人 ④産後ケア事業（対象時期を産後1年へ拡大）：実4人 ⑤妊婦・乳幼児健康相談：年10回、実33組、延82組 ⑥2か月児相談：年12回、対象70人、実30人 ※産後ヨガ・ベビーヨガ教室は感染症対策のため中止（合計1,569,814円） 実績額合計：6,370,053円		

5	取組実績と今後の予定	R4年度実績	1 健康教育①さくらんぼクラブ（子育て教室）（離乳食のみ）：回数2回、実22組、延22組（0円）※令和4年度から支援センター事業として実施。 ②おやこクッキング：感染症対策のためパンフレット配布のみ 回数5回、配布数137人（食生活改善協議会委託補助金 直接的支出なし） 2 乳幼児健診等①乳児健診：回数6回、対象101人、受診数100人（300, 161円） ②1歳6か月児健診：回数6回、対象116人、受診数105人（699, 900円） ③3歳児健診：回数6回、対象129人、受診数126人（2, 178, 865円） ④5歳児相談：回数3回、対象147人、相談数28人（279, 451円） 3 乳幼児健康相談①子育て相談：回数34回、実28人、延63人 ②言葉の教室：回数144回、実64人、延460人 ③巡回相談：回数10回（合計1, 851, 414円） 4 歯科保健事業①よい歯びかびかキッズ：年6回、対象111人、受診87人、受診率78. 4% ②2歳児歯科健診：回数4回、対象106人、受診数88人、受診率83. 0% ③よい歯のコンクール（高齢者部門1回 2人）（合計773, 022円） 5 子育て世代包括支援センター事業 ①妊娠届出時面接：88人 ②妊娠8か月教室（ウェルカムベビークラスへ名称変更）：年6回、対象89人、妊婦実32人、家族実27人 ③出生時面接：82人 ④産後ケア事業（対象時期を産後1年へ拡大）：実8人 ⑤妊婦・乳幼児健康相談：年12回、実37組、延104組 ※産後ヨガ・ベビーヨガ教室：年11回、実47人（センター事業：合計1, 298, 529円） 実績額合計：7, 381, 342円
		R5年度実績	・子育て世代包括支援センターの機能を十分に果たし、妊娠期からの切れ目のない支援の充実を図った。 ・母子保健事業の充実により、育児不安の解消や安心した子育てにつながるようにすると共に、母子保健と子育て支援サービスの一体化をめざし、子育て世代包括支援センター事業や母子保健事業での子育て支援サービスのPRや把握された特定妊婦や要支援児への子育て支援サービス等の活用による早期支援の充実を図った。 ・伴走型相談支援として、妊娠届出時・妊娠後期・出産後にアンケートを実施し専門職の面接を全数実施することで、妊娠期からの切れ目のない支援を行ってきた。 ・子育て情報アプリ（よこびか子育て支援情報アプリ）を利用し、タイムリーな情報の提供を行った。 1 健康教育①さくらんぼクラブ（子育て教室）（離乳食及び歯科健康教育）： 回数 3回、実19組、延19組（0円）※令和4年度から支援センター事業として実施。 ②おやこクッキング：回数2回、実15組、延38人（食生活改善普及会委託補助金 直接的支出なし） 2 乳幼児健診等①乳児健診：回数6回、対象76人、受診数75人（321, 155円） ②1歳6か月児健診：回数6回、対象112人、受診数103人（701, 234円） ③3歳児健診：回数6回、対象111人、受診数103人（858, 041円） ④5歳児相談：回数3回、対象116人、相談数28人（316, 189円） 3 乳幼児健康相談①子育て相談：回数38回、実34人、延65人 ②言葉の教室：回数139回、実42人、延314人 ③巡回相談：回数13回（合計：1, 746, 643円） 4 歯科保健事業①よい歯びかびかキッズ：年6回、対象93人、受診81人、受診率87. 1% ②2歳児歯科健診：回数4回、対象111人、受診数89人、受診率80. 2% ③親と子のよい歯のコンクール（高齢者部門含む）1回（親と子8組/高齢者5人）（合計：419, 831円） 5 子育て世代包括支援センター事業 ①妊娠届出時面接：83人 ②妊娠8か月教室（ウェルカムベビークラスへ名称変更）：年6回、対象71人、妊婦実14人、家族実11人（夫10人/実母1人） ③出生時面接：77人 ④産後ケア事業（対象時期を産後1年へ拡大）：実13人 ⑤妊婦・乳幼児健康相談：年12回、実53組、延185組 ※産後ヨガ・ベビーヨガ教室：年11回、実34人（センター事業：合計1, 451, 891円） 実績額合計：5, 814, 984円
		R6年度計画	・子育て世代包括支援センターの機能を十分に果たし、妊娠期からの切れ目のない支援の充実を図る。 ・母子保健事業の充実により、育児不安の解消や安心した子育てにつながるようにすると共に、母子保健と子育て支援サービスの一体化をめざし、子育て世代包括支援センター事業や母子保健事業での子育て支援サービスのPRや把握された特定妊婦や要支援児への子育て支援サービス等の活用による早期支援の充実を図る。 ・伴走型相談支援として、妊娠届出時・妊娠後期・出産後にアンケートを実施し専門職の面接を全数実施することで、妊娠期からの切れ目のない支援を行う。 ・子育て情報アプリ（よこびか子育て支援情報アプリ）を利用し、タイムリーな情報を提供していく。

		R7年度計画	・子育て世代包括支援センターの機能を十分に果たし、妊娠期からの切れ目のない支援の充実を図る。 ・母子保健事業の充実により、育児不安の解消や安心した子育てにつながるようにすると共に、母子保健と子育て支援サービスの一体化をめざし、子育て世代包括支援センター事業や母子保健事業での子育て支援サービスのPRや把握された特定妊婦や要支援児への子育て支援サービス等の活用による早期支援の充実を図る。 ・伴走型相談支援として、妊娠届出時・妊娠後期・出産後にアンケートを実施し専門職の面接を全数実施することで、妊娠期からの切れ目のない支援を行う。 ・子育て情報アプリ（よこびか子育て支援情報アプリ）を利用し、タイムリーな情報を提供していく。						
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)			
			事業費		うち特定財源	事業費		うち特定財源	
		2	7,234	743	基金	5,950	1,214	基金・国・県	
		3	7,355	324	基金	6,370	1,261	基金・国・県	
		4	6,471	329	基金	7,381	1,524	基金・国・県	
		5	6,403	502	基金	5,815	4,398	基金・国・県	
		6	5,899	0					
		7	5,899	0					
計	39,261	1,898		25,516	8,397				
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	母子手帳交付人数【115人／年】		目標2			
			計画		実績		計画		実績
		2	115	92					
		3	115	101					
		4	115	88					
		5	115	83					
		6	115						
		7	115						
		計	690 人	364 人		0 人	0 人		
			進捗率	52.75 %		進捗率	#DIV/0! %		
確認方法	母子手帳の交付者数								
		1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日	令和3年6月28日					
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった					
			外部有識者からの意見	・周知方法の検討 ・男性も参加しやすい教室設定の検討					
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				事業の周知については健診や相談に来所した方へ事業のチラシを配布、また、積極的にホームページを活用し情報の発信を行った。 男性も参加しやすい教室設定については、教室に参加した夫の全員が妊婦（妻）からの誘いによるものだったため、今後も対象者のニーズに沿った内容を充実させる。また、日程が合わない対象者については個別で実施した。	
			評価年月日	令和3年8月17日					
			今後の方針	事業内容の見直し（改善）					
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める					
			計画変更の必要性	無					
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議					
			評価年月日	令和4年7月14日					
			事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった					
			外部有識者からの意見	・ヨガ・食育教室・子育て支援センター事業の園庭解放に限らず、気軽に参加できるコミュニケーションの場設定の検討					
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議					
			評価年月日	令和4年8月17日					
			今後の方針	事業の継続					
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める					
			計画変更の必要性	無					

8	K P I 評価履歴	5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	よこぴか子育て支援情報アプリはホームページと連動してないため、ホームページ内にサブサイトを作成し子育てアプリの情報が確認できるようにする。
			外部有識者からの意見	・町ホームページとアプリの連携検討	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和6年7月1日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・目標達成へ向けた意見交換の場	
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和6年8月8日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		9	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		10	評価会議名称		
			評価年月日		
			今後の方針		
			今後の方針の理由		
			計画変更の必要性		

9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議

1	事業名		教育補助事業～苦手克服大作戦！～			担当課		教育課		
2	総合戦略の位置付け		基本目標		3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる					
			具体的な施策		(3) 教育振興と子育ての連携					
			項目		① 中学生の学習活動をサポート					
			掲載ページ		30 頁		重点への位置づけ		－	
3	事業概要		中学生の自主的な学習活動をサポートするため、町民会館を利用した教育補助事業を展開し、生徒の学力向上を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減させ、充実した教育環境と子育ての町をアピールする。							
4	事業年度		令和2年度～令和7年度							
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績		教育環境を整えることにより、移住・定住の促進。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポートするため、町民会館を開放して講師を配置した。（R2年度は町民会館空調工事のため文化会館で実施） ・日時 8月4日～8月19日の火～金（祝日除く） 午前：9:00～12:00 午後：13:00～16:00 ・経費 講師謝礼 1,450円×6時間×4人×9日＝313,200円						
		R3年度実績		教育環境を整えることにより、移住・定住の促進。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポートするため、町民会館を開放して講師を配置した。 ・日時 7月21日～8月24日の月～金（祝日除く） 午前：9:00～12:00 午後：13:00～16:00 ・経費 講師謝礼 1,450円×6時間×4人×19日＝661,200円 1,450円×6時間×3人×1日＝26,100円 1,450円×3時間×1人×1日＝4,350円 合計691,650円						
		R4年度実績		教育環境を整えることにより、移住・定住の促進。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポートするため、町民会館を開放して講師を配置した。 ・日時 7月21日～8月24日の月～金（祝日、8月15日を除く） 午前：9:00～12:00 午後：13:00～16:00 ・経費 講師謝礼 1,450円×6時間×4人×22日＝765,600円 1,450円×3時間×4人×1日＝17,400円 1,450円×3時間×3人×1日＝13,050円 合計796,050円 23日間実施（22日間（午前・午後4人配置）、1日間（午前3人配置、午後4人配置））						
		R5年度実績		教育環境を整えることにより、移住・定住の促進。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポートするため、町民会館を開放して講師を配置した。 ・日時 7月21日～8月24日の月～金（祝日、8月14日、15日を除く） 午前：9:00～12:00 午後：13:00～16:00 ・経費 講師謝礼 1,450円×6時間×4人×22日＝765,600円 合計765,600円 22日間実施（午前・午後4人配置）						
		R6年度計画		教育環境を整えることにより、移住・定住の促進。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポートするため、町民会館を開放して講師を配置する。 ・日時 7月22日～8月23日の月～金（祝日、8月14日、15日を除く） 午前：9:00～12:00 午後：13:00～16:00						
		R7年度計画		教育環境を整えることにより、移住・定住の促進。 夏休み期間を利用して、苦手科目の克服にチャレンジする意欲的な中学生の自主学習をサポートするため、町民会館を開放して講師を配置する。 ・時期：夏休み（祝日を除く火曜日から金曜日） ・その他詳細については、前年度の反省を踏まえ検討する。						
6	事業費		年度	計画(千円)			実績(千円)			
			事業費		うち特定財源	事業費		うち特定財源		
			2	314	157	推進	313	156	推進	
			3	836	418	基金	692	346	基金	
			4	766	383	基金	796	398	基金	
			5	766	383	基金	766	382	基金	
			6	766	383	基金				
			7	766	383	基金				
計	4,214	2,107		2567	1,282					
7	重要業績評価指標（KPI）		年度	目標 1	参加生徒数【360人／累計】		目標 2			
			計画		実績		計画		実績	
			2	60	39					
			3	60	49					
			4	60	119					
			5	60	139					
			6	60						
			7	60						
			計	360 人	346 人	0	0			
				進捗率	96.11 %	進捗率	#DIV/0! %			
確認方法	参加実績による ・参加申込人数									

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ K P I は人数ではなく満足度にしてはどうか	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	参加者にアンケートをとり、満足度等も調査している。 多くの生徒が参加することによる、学習支援の充実を目的としているため、KPIについては参加生徒数としている。
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業内容の見直し(改善)	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 特になし	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	コロナ禍においても、より多くの生徒に受講機会を提供できるよう対策を講じながら、今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 特になし	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和6年7月1日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 小学校高学年への対象拡大 ・ 町PRへ活用 ・ 事業名の工夫 ・ リモート参加、YouTube配信の検討 ・ 交通事故や災害時への対応意識の共有	
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和6年8月8日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
9	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
10	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
	計画変更の必要性				
9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名		放課後児童健全育成事業の充実			担当課		健康こども課		
2	総合戦略の位置付け		基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる						
			具体的な施策	(3) 教育振興と子育ての連携						
			項目	② 児童クラブの充実						
			掲載ページ	30 頁			重点への位置づけ	—		
3	事業概要		保護者が就労等の理由で昼間家庭にいない小学生の児童を放課後に預かり、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立を支援する。							
4	事業年度		令和2年度～令和7年度							
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	保護者が就労等により、授業終了後に家庭で保育が行えない小学校に就学中の第1学年から第3学年（追加募集にて第4学年までの受入れを実施。）までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立の支援を継続した。 令和2年度は、第4学年を追加募集して受け入れを実施した。 ○参考：募集手順 第1学年から第3学年の募集⇒受入定員に余裕がある⇒第4学年以上の学年を追加募集（現状では第4学年までの受入れ実施）							
		R3年度実績	保護者が就労等により、授業終了後に家庭で保育が行えない小学校に就学中の第1学年から第3学年（追加募集にて第4学年までの受入れを実施。）までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立の支援を継続した。 令和3年度は、第4学年を追加募集して受け入れを実施した。 ○参考：募集手順 第1学年から第3学年の募集⇒受入定員に余裕がある⇒第4学年以上の学年を追加募集（現状では第4学年までの受入れ実施）							
		R4年度実績	保護者が就労等により、授業終了後に家庭で保育が行えない小学校に就学中の第1学年から第3学年（追加募集にて第4・5学年の受入れを実施）までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立の支援を継続した。 令和4年度から対象児童の募集及び受入れを第4学年から第5学年までの引き上げを実施した。令和5年度以降は、第6学年まで募集を実施。令和4年度末で契約期間が満了（債務負担行為）となったため、契約更新に向けてプロポーザルを実施した。令和5年度から児童クラブの実施時間延長について調整を図った。							
		R5年度実績	保護者が就労等により、授業終了後に家庭で保育が行えない小学校に就学中の第1学年から第6学年までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立の支援を継続する。 令和5年度から児童クラブの実施時間の延長（現行の前後30分ずつ）を実施した。							
		R6年度計画	保護者が就労等により、授業終了後に家庭で保育が行えない小学校に就学中の第1学年から第6学年までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立の支援を継続する。 待機児童については、退所状況等を踏まえ運営委託業者と調整を図り解消に務める。							
		R7年度計画	保護者が就労等により、授業終了後に家庭で保育が行えない小学校に就学中の第1学年から第6学年までの児童を預かり、適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成と保護者の仕事と育児の両立の支援を継続する。 待機児童については、退所状況等を踏まえ運営委託業者と調整を図り解消に務める。							
6	事業費		年度	計画(千円)			実績(千円)			
			事業費		うち特定財源		事業費		うち特定財源	
			2	56,195	30,394	国・県	48,313	28,807	国・県	
			3	48,678	30,433	国・県	47,734	19,392	国・県	
			4	50,292	31,606	国・県	49,133	28,879	国・県	
			5	52,385	30,996	国・県	52,862	31,961	国・県	
			6	53,961	30,701	国・県				
			7	53,961	30,701	国・県				
			計	315,472	184,831		198,042	109,039		
7	重要業績評価指標 (KPI)		年度	目標1	児童クラブ待機者数【0人】		目標2			
			計画		実績		計画		実績	
			2	0	0					
			3	0	0					
			4	0	0					
			5	0	6					
			6	0						
			7	0						
			計	0 人	6 人		0 人	0 人		
			進捗率		100.00 %		進捗率		#DIV/0! %	
			確認方法	待機児童リスト						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日	令和3年6月28日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	特になし		
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
			評価年月日	令和3年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日	令和4年7月14日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	・空港従業者を対象とした場合や保育園開設時間との整合性を図った開設時間の検討 ・居場所づくりのためにも、小学校6年生までの児童受入れ早期実現の検討		
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		・令和5年度からの児童クラブ開設時間延長に向け調整を図った。 (令和5年4月から時間延長決定) ・令和5年度児童クラブ募集時に小学6年生までの受け入れを実施した。
			評価年月日	令和4年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、事業の充実を図りながら、今後も計画どおり進める		
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	・教育の観点の取り入れ検討		
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		・児童クラブは、児童福祉法に基づき、労働・疾病・看護等により、保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、放課後の安全を確保し、適切な遊び及び生活の場を与えることにより児童の健全な育成を図ることを目的として、支援員等を配置し実施している状況である。 ・教育の観点の取り入れについては、学習の指導にあたる人材確保及び人員配置等運営全体の見直しが必要となることから、課題の把握に努め今後検討してまいりたい。
			評価年月日	令和5年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	意見を参考に、今後も計画どおり進める		
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和6年7月1日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	・学習の導入 ・利用者や施設へのアンケート実施 ・シルバー人材やインストラクターなどの活用		
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
			評価年月日	令和6年8月8日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		
		9	評価会議名称			評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)
			評価年月日			
			事業の評価			
			外部有識者からの意見			
		10	評価会議名称			
			評価年月日			
			今後の方針			
			今後の方針の理由			
9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				

1	事業名		英語教育推進事業		担当課	教育課
2	総合戦略の位置付け		基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる		
			具体的な施策	(3) 教育振興と子育ての連携		
			項目	③ グローバルな教育振興		
			掲載ページ	30 頁	重点への位置づけ	—
3	事業概要		世界で活躍できるグローバルな人材を育成するため、小中学生の英語力を強化、成田臨空地域という地域性を生かした国際性豊かな教育を推進する。			
4	事業年度		令和2年度～令和7年度			
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	グローバル化に対応できる人材育成のため、全中学生を対象に、1人年1回（第2回が対象）に限り英語検定の受験料の全額を助成した。 ・5級@2,000円×214人＝428,000円 ・4級@2,600円×188人＝488,800円 ・3級@3,900円×92人＝358,800円 ・準2級@4,900円×40人＝196,000円 ・2級@5,500円×8人＝44,000円 ・1級@10,300円×1人＝10,300円 合計 1,525,900円 日本人英語補助講師を小学校に配置し、少人数指導のもと、児童へのきめ細かな指導する中で、英語教育を推進した。			
		R3年度実績	グローバル化に対応できる人材育成のため、全中学生を対象に、1人年1回（第2回が対象）に限り英語検定の受験料の全額を助成した。 ・5級@2,500円×217人＝542,500円 ・4級@2,900円×180人＝522,000円 ・3級@4,800円×99人＝475,200円 ・準2級@5,800円×47人＝272,600円 ・2級@6,500円×11人＝71,500円 ・1級@10,700円×1人＝10,700円 合計 1,894,500円 日本人英語補助講師を小学校に配置し、少人数指導のもと、児童へのきめ細かな指導する中で、英語教育を推進した。			
		R4年度実績	グローバル化に対応できる人材育成のため、全中学生を対象に、1人年1回（第2回が対象）に限り英語検定の受験料の全額を助成した。 ・5級@2,500円×208人＝520,000円 ・4級@2,900円×194人＝562,600円 ・3級@4,700円×106人＝498,200円 ・準2級@5,700円×26人＝148,200円 ・2級@6,400円×9人＝57,600円 合計 1,786,600円 日本人英語補助講師を小学校に配置し、少人数指導のもと、児童へのきめ細かな指導する中で、英語教育を推進した。			
		R5年度実績	グローバル化に対応できる人材育成のため、全中学生を対象に、1人年1回（第2回が対象）に限り英語検定の受験料の全額を助成した。 ・5級@2,400円×193人＝463,200円 ・4級@2,800円×162人＝453,600円 ・3級@4,600円×112人＝515,200円 ・準2級@5,600円×42人＝235,200円 ・2級@6,300円×12人＝75,600円 ・準1級@9,700円×2人＝19,400円 ・1級@11,700円×2人＝23,400円 合計 1,785,600円 日本人英語補助講師を小学校に配置し、少人数指導のもと、児童へのきめ細かな指導する中で、英語教育を推進する。			
		R6年度計画	グローバル化に対応できる人材育成のため、全中学生を対象に、1人年1回（第2回が対象）に限り英語検定の受験料の全額を助成する。 ・5級@2,500円×140人＝350,000円 ・4級@2,900円×196人＝568,400円 ・3級@4,700円×124人＝582,800円 ・準2級@5,700円×31人＝176,700円 ・2級@6,400円×10人＝64,000円 ・準1級@9,800円×1人＝9,800円 ・1級@11,800円×1人＝11,800円 合計 1,763,500円 日本人英語補助講師を小学校に配置し、少人数指導のもと、児童へのきめ細かな指導する中で、英語教育を推進する。			
		R7年度計画	グローバル化に対応できる人材育成のため、全中学生を対象に、1人年1回（第2回が対象）に限り英語検定の受験料の全額を助成する。 ・5級@2,500円×139人＝347,500円 ・4級@2,900円×194人＝562,600円 ・3級@4,700円×122人＝573,400円 ・準2級@5,700円×31人＝176,700円 ・2級@6,400円×10人＝64,000円 ・準1級@9,800円×1人＝9,800円 ・1級@11,800円×1人＝11,800円 合計 1,745,800円 日本人英語補助講師を小学校に配置し、少人数指導のもと、児童へのきめ細かな指導する中で、英語教育を推進する。			
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)	
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源
		2	1,573	786 基金	1,526	763 基金
		3	1,600	800 基金	1,895	947 基金
		4	1,872	917 基金	1,787	893 基金
		5	1,767	884 基金	1,786	1,142 基金・寄附
		6	1,766	883 基金		
		7	1,746	873 基金		
		計	10,324	5,143	6,994	3,745
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	英検取得者（平均取得率）【75%】	目標2	中学校3年生3級所得率【50%】
			計画	実績	計画	実績
		2	57.60	75.00		
		3	61.20	80.2		
		4	64.80	76.43	45	9.04
		5	68.40	78.3	48	31.1
		6	72.00		50	
		7	75.00		50	
		計	75 %	77.48 %	50 %	40.14 %
			進捗率	103.31 %	進捗率	80.28 %
		確認方法	全学年英検取得者実績÷中学校生徒数×100 年度末取得者		3年生3級以上取得者÷3年生生徒数×100	

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月28日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		2	外部有識者からの意見	・ 3 級合格率の数値目標を設けてはどうか	中学3年生の3級所得率50%以上を数値目標として加えることとした。
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業内容の見直し（改善）	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める	
		3	計画変更の必要性	無	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	
			評価年月日	令和4年7月14日	
		4	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・ 特になし	
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和4年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
		5	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			計画変更の必要性	無	
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		6	外部有識者からの意見	・ 補助対象に小学生の追加を検討 ・ 補助対象検定回を選択できるよう検討	・ 小学生の追加は、検討中（予算、外国語の学習状況等を含め） ・ 今年度は、第2回を対象として実施。進路等を考えると、第2回が適当。
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、取組方法を検討した上で、今後も計画どおり進める	
		7	計画変更の必要性	無	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	
評価年月日	令和6年7月1日				
8	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
	外部有識者からの意見	・ 英検合格級によっては大学受験で利用が可能			
	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和6年8月8日			
	今後の方針	事業の継続			
9	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)		
	計画変更の必要性	無			
	事業の評価				
10	外部有識者からの意見				
	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
9	計画変更の必要性				
	評価会議名称				
	評価年月日				
9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名		グローバル人材海外派遣事業			担当課	企画空港課			
2	総合戦略の位置付け		基本目標	3 結婚、出産、子育ての希望をかなえる						
			具体的な施策	(3) 教育振興と子育ての連携						
			項目	③ グローバルな教育振興						
			掲載ページ	30 頁			重点への位置づけ	—		
3	事業概要		成田臨空地域という地域性を生かし、世界で活躍できるグローバルな人材を育成するため、町内在住の中学生を海外に派遣し、国際感覚の醸成と異文化理解の向上を推進する。							
4	事業年度		令和5年度～令和7年度							
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績								
		R3年度実績								
		R4年度実績								
		R5年度実績	町内在住の中学生をシンガポールに派遣し、現地の大学生との交流や現地施設の見学などを通じ、世界で活躍できる人材を育成を図った。 ・派遣人数 横芝光町に在住する中学生（中学1年生から中学3年生）10名、引率者2名 ・派遣期間 令和5年8月21日（月）～令和5年8月25日（金）4泊5日 ・個人負担額 50,000円／人 ・派遣者は、事前説明会、研修会、派遣後の報告会に参加							
		R6年度計画	町内在住の中学生をシンガポールに派遣し、現地の大学生との交流や現地施設の見学などを通じ、世界で活躍できる人材を育成する。 ・派遣人数 横芝光町に在住する中学生（中学1年生から中学3年生）10名、引率者2名 ・派遣期間 令和6年8月19日（月）～令和6年8月23日（金）4泊5日 ・個人負担額 50,000円／人 ・派遣者は、事前説明会、研修会、派遣後の報告会に参加							
		R7年度計画	町内在住の中学生を海外に派遣し、英語で現地の同世代との交流、異文化に親しむ機会や社会見学（歴史的施設見学）などを通じ、世界で活躍できる人材を育成する。 ・派遣人数 横芝光町に在住する中学生（中学1年生から中学3年生）10名、引率者2名 派遣内容については、従前の事業実績および参加者からのアンケートを参考にし、検討していく。							
6	事業費		年度	計画（千円）			実績（千円）			
			事業費		うち特定財源		事業費		うち特定財源	
			2							
			3							
			4							
			5	5,321	4,789	空港	4,698	4,228	空港	
			6	5,714	5,143	空港				
			7	5,714	5,143	空港				
計	16,749	15,075		4,698	4,228					
7	重要業績評価指標（KPI）		年度	目標1	海外派遣者数【30名／累計】		目標2			
			計画		実績		計画		実績	
			2							
			3							
			4							
			5	10	10					
			6	10						
			7	10						
			計	30 人	10 人		0 人	0 人		
			進捗率	33.33 %		進捗率	#DIV/0! %			
確認方法	事業を通じての海外派遣人数									

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		2	評価会議名称		
			評価年月日		
			今後の方針		
			今後の方針の理由		
			計画変更の必要性		
		3	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		4	評価会議名称		
			評価年月日		
			今後の方針		
			今後の方針の理由		
			計画変更の必要性		
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月10日	
			事業の評価	実績が無いため評価を行わない	
			外部有識者からの意見	・他事業として、成田空港での英語や異文化を学べる研修検討	
		6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	・他の国際交流事業(英語講座、異文化交流イベント)や空港人材育成事業を通じ、若い世代に異文化やグローバルな感覚を身に付けてもらえるよう努めた。今後の大阪万博を契機に、ベリーズ国と子どもたちとの更なる交流も深めていく。
			評価年月日	令和5年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和6年7月1日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・参加者の意見を反映すること ・中学校での発表の実施	
		8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和6年8月8日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		9	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		10	評価会議名称		
			評価年月日		
			今後の方針		
			今後の方針の理由		
			計画変更の必要性		
9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			